

22 褥瘡発生率

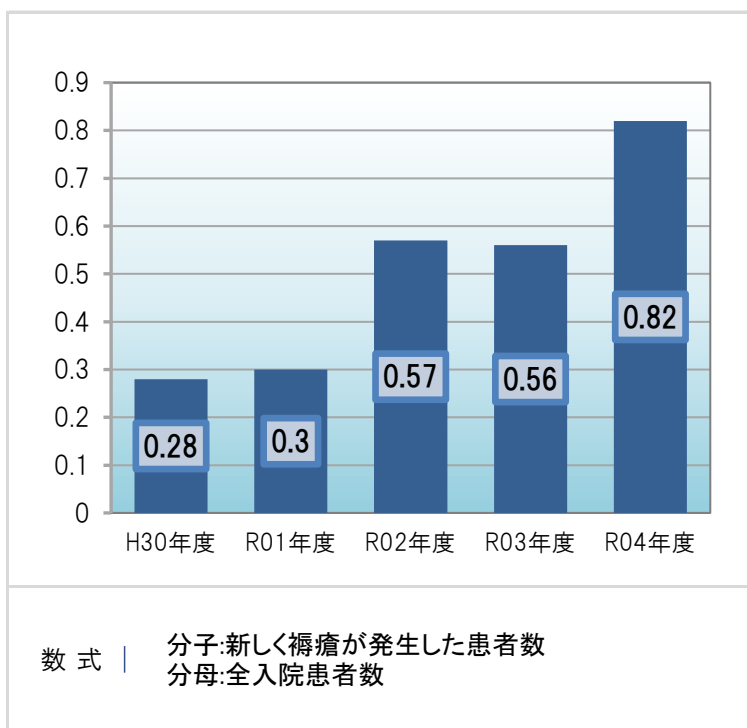
● 項目の解説

入院中に発生した褥瘡(床ずれ)は、患者のQOLを低下させ、入院の長期化につながることもあります。予防可能な褥瘡については、適切な診療やケアにより、発生を回避することができます。当該指標は予防への取り組みとその効果を示す指標です。

なお、各国立大学病院における褥瘡への取り組みの一環として、患者の褥瘡のサーベイランス(発生状況を経時的にモニタリングすることにより、褥瘡の蔓延と予防に役立つシステム)の精度に影響を受けることを考慮する必要があります。

また、令和3年度調査よりMDRPU(医療関連機器圧迫創傷)も含むことが明記されました。

● 当院の実績



単 位 | 割合(%)

期 間 | 年間

備考

当院では、褥瘡マットの使用や適宜の体位変換などの褥瘡対策を適切に実施する事により、褥瘡の発生防止に努めています。

令和4年度国立大学病院平均値 0.67%

● 定 義

褥瘡の定義は、「DESIGN-Rでd2以上(深さ判定不能含む)、あるいはNAUAPの分類にてステージⅡ以上(判定不能含む)に該当する褥瘡」としました。年間入院患者数に対する、新しく褥瘡が発生した患者数の比率(%)です。※令和3年度より、自重による褥瘡以外、MDRPU(医療関連機器圧迫創傷)も含めています。